

令和2年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	福島県医療機器開発・安全性評価センター整備事業			担当部局庁	復興庁	作成責任者			
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	令和9年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	増田 直樹		
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	医療イノベーション5か年戦略 2012年6月6日策定 日本再生戦略 2012年7月31日閣議決定 福島復興再生基本方針 2012年7月31日閣議決定 「復興・創生期間」後における東日本大震災からの復興の基 本方針 令和元年12月20日閣議決定				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	□「ふくしま医療機器開発支援センター」(福島県郡山市)は平成24年度復興特会予備費「医療機器産業拠点整備等事業費補助金」交付にて福島県により医療機器の開発・安全拠点として整備、平成28年11月に開所。本事業は、同センターの整備と機能拡充により医療機器開発を促進し、我が国の医療機器産業の振興、国際競争力強化を目指す。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	□「ふくしま医療機器開発支援センター」は①安全性評価機能②人材育成・訓練機能③コンサルティング・情報発信機能④マッチング機能の四つ機能を備え、医療機器の開発から事業化まで一体で支援することが可能である。特に、安全性評価については、国内有数のX線遮蔽機能を有する電波暗室を備える電気・物性等安全性試験や、大動物(ブタ)を用いた埋植試験が可能な生物学的安全性試験がワンストップで実施できるという点が大きな特色である。 □本事業においては、同センターの整備と機能拡充により、福島県の医療産業集積及び医療機器開発を促進することを目的とする。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	394		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	1,562	995	747	469	0		
		翌年度へ繰越し	▲ 995	▲ 747	▲ 469	▲ 127			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		567	248	278	342	394		
	執行額		567	248	278				
	執行率 (%)		100%	100%	100%				
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!					
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	福島県基金	-	394						
	計	-	394						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 5年度	目標最終年度 9年度
	医療関連分野の産業振興 と集積	福島県の医療機器受託生 産額	成果実績	億円	406	441	-	-	-
			目標値	億円	-	-	-	450	470
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	厚生労働省 薬事工業生産動態統計年報								

活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
	医療機器の開発・安全性評価・事業化支援の件数	活動実績	件	-	162	207	-	-
		当初見込み	件	-	-	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	医療機器開発支援一件当たりのコスト 2百万円/件	単位当たり コスト	百万円	-	1.5	1.3	-	
		計算式	執行額/試験実施件数		-	248 /162件	278 /207件	-

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療機器開発・実用化による我が国医療の質の向上、医療機器産業の競争力強化による経済成長・雇用創出への貢献、そして、福島県原発被害からの復興を実現するものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	地方自治体、単独事業者・業界のみでは実施困難であり、経済産業省が、関係省庁、医療機器産業、学会、医療機関、福島県と連携の上実施すべきものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	基金方式を活用することにより、事業主体である福島県による弾力的な執行が可能であり、効果的かつ効率的な事業である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	基金方式を活用することにより、事業主体である福島県による弾力的な執行が可能であり、効果的かつ効率的な事業である。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	
外部有識者の所見			
-			
行政事業レビュー推進チームの所見			
-			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
-			

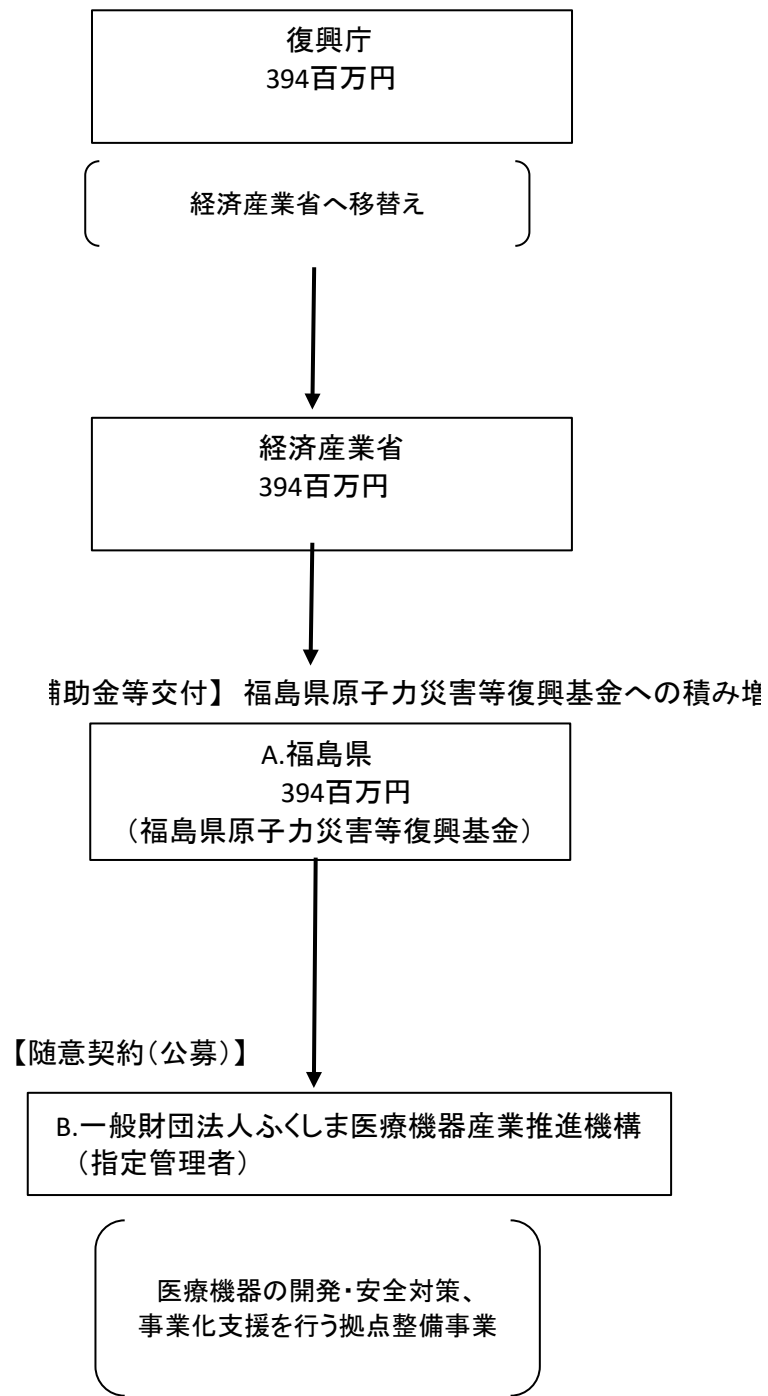
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	25-158
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	-						
平成31年度							

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.福島県			B.一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	補助金	福島県原子力災害復興基金へ積み増し	394	運営費	人件費、設備費等の支払	394
	計		394	計		394

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県	7000020070009	医療機器の開発・安全対 策、事業化支援を行う拠点 整備	394	補助金等交付	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構	4380005010944	センター運営の受託	394	随意契約 (公募)	1	100%	